



土木科 小型車両系建設機械技能講習会を行いました！

目的

- ・ 建設工事に関わる建設機械の役割を学び、土木への関心意欲の向上を図るため技能講習を行う。
- ・ 建設機械の実技講習を通じて技能を修得し、建設機械の構造、取り扱い、安全教育を通じて知識と理解を深める。
- ・ 3年目に実施する「課題研究」に向けた事前研究の一環として、ロードヒーティングの設置カ所の掘削・積み込み作業等で活用する。

日時 平成 30 年 8 月 23 日（木）学科 24 日（金）実技

対象生徒 土木科 2 年生 39 名



学科講習の様子



実技講習の様子



頑張る！ 新工 けんせつ小町

【スキルアップシートより】

- ・ 他の生徒の機械操作を見て、自分でも頭でイメージしながら操作した。何回もイメージすることの大事さが分かった。
- ・ 学科講習では、運転の仕方さえ分かればできると思っていたが、細かい制御やアームを置く位置、正しい知識が必要なのことが分かった。
- ・ 実技講習では、少しのレバー操作で機械が動くので、集中してやらないと、少しの不注意で人を傷つける可能性が大きくなると思った。
- ・ 講習を聞いて、これまで作業が困難な現場でも専用機が開発されれば、作業の効率が良くなり無駄なことや危険なことがない時代がくると思った。
- ・ 作業する場所によって、排気ガスを出さない電動で動く機械や騒音対策など、環境対策などに取り組んでいることが分かった。
- ・ ベットボトルをのせた板をバケットに載せ、パイロンからパイロンへ移す作業では、本当に細かい微妙なレバー操作だったのでとても時間がかかったけれど上手くできて良かった。早く正確にするためには熟練が必要だと分かった。



担当者より

工事を遂行させるには、優れた現場監督だけでなく、優れた機械オペレーターが存在が必須と感じた。オペレーターの技能により作業そのものの効率が異なるので時間（工期）にも影響がでる。また、土砂を積み込む際などに、ダンプなどへの衝撃が少なくなるように積み込むなど、熟練の技能と人への配慮も必要であることが分かった。

【生徒の変容】

- ・ 建設機械に関心を持ち、積極的・意欲的に操作に取り組んでいた。
- ・ 機械操作は得手不得手が出やすい。生徒達は、自分の順番が来るまで他の生徒の操作を観察してイメージトレーニングをして操作に取り組んでいた。機械の取り扱いには、正しい知識と熟練が必要であることを理解した。
- ・ 機械操作では、集中して取り組むこと、不注意な態度が重大事故につながることを理解した。